

認知症サポーター養成講座を受講しました

群馬用水管理所

群馬用水管理所では11月28日(水)に前橋市の長寿包括ケア課の職員を講師としてお招きし、認知症サポーター養成講座を19名が受講いたしました。

認知症サポーターとは認知症の方やその家族の「応援者」です。講座を通じて認知症に対する正しい知識や付き合い方を理解し、自分のできる範囲で、認知症の方を応援することが認知症サポーターです。

高齢化社会で認知症にかかる方が以前に比べて多くなり、地域で認知症の方やその家族を支えることが重要となっています。

認知症サポーターは全国で約1000万人にのぼり、わたしたちの生活に身近な存在になりつつあります。受講者には認知症サポーターとして「認知症の方を応援しています」という意志を示す「目印」であるオレンジリングが配布されました。



職員は巡視で水路等を巡ることも多く、認知症と思われる方を見かけることが今後出てくるかもしれません。その際には講座で学んだことを活かし、適切な対応をしていきたいと思えます。